

# 第38回かばらふれあい川柳

## 課題「聴診器」 選 きよし

【秀】 幼児にママの両掌が聴診器

【評】 ママの掌は名医に勝る聴診器

早乙女健志

【秀】 飲み過ぎですと聴診器が嘔う

【評】 深酒の日々を諫める聴診器

野島光二郎

【準】 悠久の樞の生命に聴診器

【評】 樹木医の樞の脈診る十代目

小野昌子

【準】 聴診器心の中は聞こえまじ

【評】 脳裏まで測る名医の聴診器

立岩ちゑ

【準】 若者の聴診高しラブソング

【評】 青春の鼓動聴診器へ謳う

平野千世子

聴診器恋の病はわかるまい

【評】 聴診の日から生れた片想い

弓 正幸

ときめきの音を聞かせて聴診器

【評】 聴診へ想いの全てときめかす

金子敏子

血圧の仮病聴診器が見抜き

【評】 聴診器禅問答を直ぐ見抜き

松井とよ子

やや不調訊いて下さい聴診器

【評】 薬でも癒えぬ病と聴診器

中西和子

聴診器当てられハートドウドキドキ

【評】 聴診器当ててる方もドッキドキ

戸村未野

次回の締め切り日は十月五日です



はじめての方も歓迎、お待ちしております。

秀句には賞呈あり。

投句の際には住所、氏名を書いてください。

投句用紙は自由です。(二句以上)

蒲原診療所の受付に投句箱を置きかえました。ご注意ください。

郵便での投句も受け付けます。官製はがき封書どちらでも結構です。

締め切りは 10月5日です。 あて先 〒120-0003 足立区東和3-4-15 蒲原診療所内 友の会事務局

## 課題「杖」

【秀】 政策に杖を取られた高齢者

〔評〕 倒れるとばかり高期の杖削る

金子敏子

【秀】 お互いを杖とも頼む老夫婦

〔評〕 僕が杖お前が杖で夫婦坂

平野千世子

【準】 なにげない近所の人杖になる

〔評〕 人情の杖が生きてる温い町

立岩ちゑ

【準】 お互いを心の杖と言う夫婦

〔評〕 心にも阿吽の杖を持つ夫婦

弓 正幸

【準】 今日も又あなたに添って歩く杖

〔評〕 毎日があなたの杖に励まされ

中西和子

お互いに杖になれるか夫婦道

〔評〕 お互いに杖になろうと口説かれる

小野昌子

除幕式主賓は杖に助けられ

〔評〕 付き人の肩に掴まり除幕式

松井とよ子

ゼブラゾーン佇つ中年の白い杖

〔評〕 横断の杖に手を貸す美しさ

野島光二郎

助け合い杖の替りの友の会

〔評〕 素晴らしい杖です健和友の会

金子敏子

高尾山共に登った遺品杖

〔評〕 幾山河越えて寄り添う遺品杖

戸村末野

生き甲斐が孫の文える愛の杖

〔評〕 孫の名の杖にだびたび癒される

嶋田すゑ子

次の課題は「若い」と「脈」です

(表現自由) 添削あり

例句「若い」 軍歌など知らぬ若さが羨まし

例句「脈」 再会の握手に脈が交差する